

2017年度の卒業生 121人に聞きました。

「心理人間学科への入学を考えている高校生を思い浮かべてください。

高校生に対して、「こういった勉強・準備をしてきたほうがよい」ということを伝えるとしたら、
どのようなことを伝えたいですか？

様々な物事へ関心を持ち、考える力

- 主幹や先入観にとらわれない柔軟な考え方を身につける。
- なるほど！で終わらずに、なぜ？といろいろなことに対して疑問を持つこと。
- 様々なことに関心を持って自分の関心のあることだけでなく、様々な経験をすればいいと思います。
- 日常で起こっている出来事に目を向けること。
- 文理問わず、様々な事柄に触れる（ニュースを見るなど）。
- 幅広い分野の本を読むこと。

数字・統計・データ分析への心構え

- 統計。数字を嫌いにならない。文系だけど、理系よりということを理解しておく。
- 少し数学的な考えを持っているといいかも（得意でなくても苦手意識をなくすだけでも）。
- 数学的なものの捉え方が苦手でも、努力して取り組む姿勢を身に付けること。
- 数学や分析という言葉に抵抗がある人でも心配せず入学してほしいです。数学が苦手なひとでも分析はできます。
- 数学に対する苦手意識をなくすこと。

文章を書き、人に伝える力

- 文章力を身につける。
- 文章を書く練習をするべき。
- 論理的にものごとを考え、わかりやすく説明する力を養えるとよいかと思います。

人と関わることへの意識

- 授業ではグループワークが多く、いろんな人とコミュニケーションをとらないといけないことが多いので、そういう心の準備は必要です。
- 授業は人と話すことが多いので、話し合うことにあまりニガテ意識を持たないようにしておく。
- 体験からたくさんのお話を学ぶために、人と関わることやコミュニケーションにできるだけ慣れておくと授業が楽しくなると思います。

「何を勉強するか」ではなく、

「何を研究したいか（どういう未知の領域を解き明かしたいか）」を意識する